

なぜ、

すれ違ふ

患者の立場 × 医者×の立場

part
III

先着300人
入場無料

協議
テーマ

1

医療の
現場と
認知症

2

医療の
不確実性
について
考える



「いつまでも健康で長生きしたい」患者と医者の願いは同じです。同じ目的のために協力する両者の間で「すれ違い」が生まれるのは、なぜでしょうか。患者には患者の、医者には医者の言い分があります。今回のシンポジウムでは、過去のシンポジウムで活発な議論が繰り広げられた「すれ違い」をテーマに、現在、社会問題となっている「認知症」などの事例を取り上げ、それぞれの立場の違いについて、一般参加者の意見を積極的に伺い、一緒に考えたいと思います。

※協議テーマについては、追加・変更となる場合がございますので、ご了承ください。

パネリスト

座長

- 山口 育子 氏 (ささえあい医療人権センター COML 理事長)
- 岡田 英子 氏 (医仁会武田総合病院 医療安全対策室 室長)
- 勝本 孝子 氏 (洛和会ヘルスケアシステム 介護事業部 訪問看護事業課長)
- 竹中 織恵 氏 (居宅介護支援事業所管理者)
- 芦田 豊実 氏 (認知症の人と家族の会 京都府支部 世話人)
- 谷川 徹 氏 (京都府医師会 医療安全対策委員会 委員)
- 岡田 隆 氏 (京都府医師会 医療安全対策委員会 委員)

[順不同]

- 依田 建吾 氏 (京都府医師会 医療安全対策委員会 委員長)

日時

平成28年 4月24日(日)

午後1時30分～午後4時

会場

京都府医師会館 3F 310会議室

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6

ご来館は公共交通機関をご利用ください。

〈電車でご来館の場合〉

- JR「二条」駅東ロータリー南隣
- 地下鉄東西線「二条」駅よりJR連絡通路出口よりJR「二条」駅東側出口經由南へすぐ

当日は自由参加になっておりますので直接会場にお越しください。
多数のご参加をお待ちしております。

